

# がんになっても パパ・ママになりたい

がん治療と妊娠・出産について

日時

2024年3月2日(土)

13:30~15:30 (13:00~受付開始)

会場

栃木県庁東館4階講堂

参加費  
無料  
定員100名

がん治療の進歩によって、多くの患者さんが、がんと共存あるいは克服することができるようになってきました。しかし、治療の内容によっては、その後の人生で子どもをもつことが難しくなる場合があります。その一方で、治療の影響が少ない時期に精子や卵子を凍結保存し、子どもをもつ可能性を残しておく「妊孕性温存」の取組があります。治療前に、将来子どもをもつことについて考えてみませんか。

## 講演1

### 「がん治療と妊娠・出産」 ～がんになっても母になりたい～

若年性乳がんサポートコミュニティPink Ring

代表 御船 美絵 氏



31歳で乳がん罹患。闘病中に自身が欲しかった“若年特有の悩みを共有できる場”を広げるべく、2014年より若年性乳がん患者支援団体「Pink Ring」代表。日本乳癌学会編集「患者向けガイドライン」小委員会委員、がん・生殖医療学会編集「乳癌患者の妊娠・出産に関するガイドライン2021年版」編集委員、厚生労働省「小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法に関する検討会」構成委員。

当日は、がん治療後に出産し、母となった自身の体験や、患者支援団体の立場から見える今後の課題や期待についてお話をさせていただきます。

## 講演2

### 「がん治療と生殖機能温存・ 妊孕性温存療法について」

自治医科大学附属病院

生殖医学センター長 左 勝則 氏



2006年千葉大学医学部卒。2012年ジョーンズ・ホプキンス大学公衆衛生大学院にて公衆衛生修士号を取得。

2014年千葉大学大学院博士課程(公衆衛生学)修了。

空の森クリニック、埼玉医科大学での勤務を経て、2023年4月から現職。当日は、がん治療が生殖機能に及ぼす影響や、妊孕性温存療法について、最新の情報をお届けします。

## 講演3

### 「栃木県の妊孕性温存支援について」

栃木県保健福祉部健康増進課 がん・生活習慣病担当

がん対策チーム 岩崎 宏貴 氏

どなたでもご参加いただけます

参加お申込方法は裏面にあります→

# 申込方法

FAX（このチラシにご記入）、もしくはメールにて

- ①氏名 ②郵便番号 ③お住まいの市町
- ④電話番号をご連絡ください。

入力しやすい  
応募専用フォームは  
こちら →



## FAX申込用紙

# 028-658-5297

下記にご記入の上、お送りください

※申込先着順、定員を超えた場合のみご連絡いたします。

参加される方のお名前	お住まいの市町	お電話番号
ふりがな -----		
ふりがな -----		
ふりがな -----		
ふりがな -----		

※ご連絡いただいた個人情報は、この公開講座でのみ使用し、それ以外に利用することはありません。

### 御船 美絵さんへの質問

-----

-----

-----

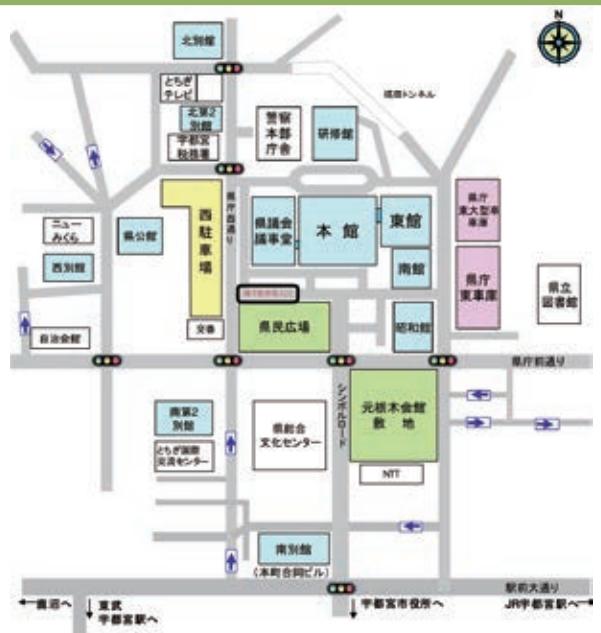
### 左 勝則先生への質問

-----

-----

-----

会場地図



会場：栃木県庁東館4階講堂(宇都宮市埴田1-1-20)

※本館入口から入館し、東側エレベーターで4階へ

アクセス：●JR宇都宮駅西口バスターミナルからバス  
1番、2番、6番、7番、11番、12番、13番乗り場から乗車  
「県庁前」下車、徒歩5分

●東武宇都宮駅から徒歩約12分

●車でお越しの方は県庁地上駐車場をご利用ください。